

美しい日本の歴史的風土 100 選選定記念 「信州松代散策案内板・ルートマップ作成とまるごとミュージアムの開催」

取り組みに至る背景・事業の目的

真田十万石の城下町・松代は、素晴らしい自然と歴史、文化の薫り高い町であるが、城下町の面影を色濃く残す歴史的文化的遺産を十分に活かすことなく、長い間停滞してきた。

こうした状況の中、平成 5 年に上信越道長野インターチェンジが松代に開設されたことをきっかけに住民主体のまちづくり活動が活発化し、平成 12 年に長野市が自然や歴史、文化や人など松代にある資源を活かして、町全体を博物館にする「信州松代まるごと博物館構想」を立案したことを受け、行政任せではなく市民参加で「信州松代まるごと博物館構想」を実現していくこと、平成 13 年 6 月に当会を発足させた。

平成 16 年には松代城の復元整備に合わせて、「エコール・ド・まつしろ」「遊学城下町まつしろ」をキャッチフレーズに官民一体の観光客誘客キャンペーンが展開され、年間 86 万人もの観光客が松代に訪れた。また、平成 19 年 2 月には松代が古都保存財団の「美しい日本の歴史的風土 100 選」に選定されるなど、活動の成果が実を結んでいる。

事業内容

松代が「美しい日本の歴史的風土 100 選」に選定されたことを記念し、地域に潜在する歴史的遺産を掘り起こして光を当て、江戸時代から伝わる路地名や町名の由来、各所に残る歴史的遺産のいわれを解説した案内板を 20 基整備するとともに、松代町の回遊性を高めるため、町内を「武家屋敷さんぽ」「お寺巡り」「町屋あるき」をテーマに 3 地区に区分し、手書きのイラストで紹介するルートマップを作成した。

また、10 月 20 日から 1 ヶ月間、町内各団体の協力を得て、松代市街地全体をミュージアムに見立てたイベント「信州松代まるごとミュージアム」を開催し、記念講演会や「松代登録有形文化財散策ツアー」、「思い出の着物を仕立てた市松人形展」、「松代高校美術生徒作品松代ミニミニTシャツ展」など、数多くの催しを行った。



【まるごとミュージアム】

事業効果

松代の良さを内外にアピールすることができ、町内の回遊性が高まり、地元の人々や観光客のまち歩きを活発化させることができたほか、これらの取組等を契機として、平成 19 年 11 月には神奈川大学が当法人と共同でまちづくり研究所を松代町に設置するなど、他地域との連携・交流の拡大にもつながった。

工夫・苦労した点、課題、今後の取り組みなど

案内板設置場所が民有地、寺院、行政所有地などであったため、設置の承諾を得るため何回も通って了解をとった。また回遊性を考慮しバランスよく町内に配置した。商店街や観光、福祉、文化財保存のまちづくりなど個別に活動していた人々が、まるごとミュージアム開催のため連携して取り組んだ結果、人的交流が進んでまちづくりの輪が広がり、その後お互いの得意を活かして連携したまちづくりに進展してきている。商店街の活性化にいかに関わりつづけるかが今後の課題である。

【選定のポイント】

町内の回遊性が増し、観光振興に寄与したほか、他地域との連携・交流の拡大にもつながった。

団体名	NPO法人 夢空間松代の町と心を育てる会（長野市）	事業タイプ	ソフト・ハード事業
連絡先	電話 026-278-1277	事業費	3,059,458円
	http://www.geocities.jp/yumekuukanmatusiro/	支援金額	2,370,000円